

明聖TOPICS

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23
明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:http://www.meisei-hs.ac.jp



絶対勝とう!!

11月21日(木)千葉ポルトアリーナにて明聖祭球技の部が行われました。
球技の部は学年の枠を超え、各クラスが真剣勝負を行う行事となります。競技種目は、ドッジボール、バスケットボール、フットサルの3種目です。運動が得意な生徒が、そうでない生徒を巻き込んで団結を図る姿が窺えました。

【男子】
決勝は、3・2対3・3の力と力の勝負。迫力ある投げ合

球技の部では、1年2組がたくさん活躍できて、物凄く嬉しかったです。皆と協力してドッジボールでは、避けながら隙をついて当てることができ優勝することができたのでよかったです。そして、最優秀選手賞にも選出されてとても良い思い出になりました。
(1・2 西本 柚歩)

開で皆の興奮はマックスでした。
優勝 1・2
準優勝 3・1
最優秀選手賞 1・2 西本 柚歩



★ドッジボール
決勝は1・2対3・1の対決となり、元氣いっぱい1年生が3年生を下す快挙で、優勝を手に入れました。どちらも団結力を見せていましたが、手に汗握る展開で皆の興奮はマックスでした。

決勝は、3・2対3・3の力と力の勝負。迫力ある投げ合

球技の部では、1年2組がたくさん活躍できて、物凄く嬉しかったです。皆と協力してドッジボールでは、避けながら隙をついて当てることができ優勝することができたのでよかったです。そして、最優秀選手賞にも選出されてとても良い思い出になりました。
(1・2 西本 柚歩)

開で皆の興奮はマックスでした。
優勝 1・2
準優勝 3・1
最優秀選手賞 1・2 西本 柚歩

いとなりまりました。3年生同士の対決となり、真剣勝負に応援もヒートアップ! 気づけば応援の生徒がコートを囲む形となっていました。序盤はお互いに拮抗した戦況の中、攻防を繰り返しましたが、後半になり、ボールを支配できなかつた3・2が少しずつ減り、3・3が優勝を決めました。1、2年生も含め全員で真剣に闘う様子が見られました。



行けー!!



シュート!!

バスケットボールで優勝、そして最優秀選手賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。クラスメイトのパスやドリブルがとても上手で、得点が決めやすく、とても楽しかったです。
(2・3 伴 隆希)

バスケットボールで優勝、そして最優秀選手賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。クラスメイトのパスやドリブルがとても上手で、得点が決めやすく、とても楽しかったです。
(2・3 伴 隆希)

バスケットボールで優勝、そして最優秀選手賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。クラスメイトのパスやドリブルがとても上手で、得点が決めやすく、とても楽しかったです。
(2・3 伴 隆希)

【男子】
3年生を打ち破り、2年生同士の決勝戦となりました。決勝は2・2と2・3の対決です。2・2は予選で活躍した

★バスケットボール
機動力の1・2と、総合力で挑む1・4が決勝で戦いました。両チームとも1年生ながら、決勝に駒を進めました。両者とも華麗なプレーを見せ、白熱した戦いを続けました。後半ではシュートの成功率が高かった1・4が決勝を制しました。

バスケットボールで優勝、そして最優秀選手賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。クラスメイトのパスやドリブルがとても上手で、得点が決めやすく、とても楽しかったです。
(2・3 伴 隆希)



ナイスジャンプ

★フットサル

決勝は、サッカー経験者が多く所属する3・4と、サッカー部のキャプテン工藤を擁する3・3の対決になりました。両クラスとも強烈なシュートを打つもキーパーのファインプレーに阻まれたり、ゴールの枠を捉えることができなかつたりと、規定の時間を越え、延長戦までもつれ込む熱戦となりました。延長戦終盤、均衡を破つたのは3・3の工藤。強力な守りの隙を突き、貴重なミドルシュートを決め、これが決勝点となり3・3が勝利を収めました。

優勝 3・3
準優勝 3・4
最優秀選手賞 3・3 工藤 侑己



決めるぞ〜!!

私は、去年から最優秀選手賞を狙ってましたが取ることができなかったの、「今年こそは!」という思いで挑みました。その結果、今年を受賞することができてよかったです。総合優勝も受賞することができ一緒にプレーしたクラスメイトや応援してくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。(3・3 工藤 侑己)

フットサル1位、ドッジボール男子1位の好成績を取めた3・3が総合優勝を飾りました。空き時間には、他クラスを応援する姿も見られスポーツマンシップに則ったプレーが随所に見られ、気持ちのよい試合が多くありました。球技の部を経て、クラスの団結力が更に高まったことでしょうか。また、特別試合では鶴見先生、小笠原先生の実況、解説を入れ、試合に花を添えました。来年もスポーツに酔い、楽しめる球技の部を期待します。



最優秀選手3名



優勝 3年3組

1月30日(木)に青葉の森公園芸術文化ホールにて、明聖祭(合唱の部)を開催しました。今回は過去最多の13組の発表となりました。今年度は、新たに学年合唱を取り入れ、2学期から練習を始めると共にクラスや学年の団結力を深めてきました。迎えた本番。まずは1年生の学年合唱「愛唄」の発表からスタートです。大切な人への思いをストリートに歌った曲を爽やかに歌い上げました。そしてクラス発表のトップバッターを担ったのは1年3組の「ハルノヒ」。家族への愛を柔らかなメロディーに乗せた曲で

明聖祭 合唱の部

す。緊張感がある中で丁寧な歌いきり、会場の雰囲気を作り上げ、かきと合唱の色に染めてくれました。続いての発表は1年2組の「桜」です。主人公の成長を歌ったこの曲を堂々と歌い上げ、特別賞受賞という見事な桜を咲かせました。



学年合唱



特別賞 1年2組

結果発表では金賞とはなりませんでした。けれどもみんなが自信をもって歌い特別賞を取ることができ、とても嬉しかったです。とても良い合唱祭の思い出がありました。(1・2 村田匠) その次は、1年1組の「瞬き」です。生徒たちが一生懸命に歌う姿と曲が絶妙にマッチしていました。続いては1年4組の「手紙」拝啓十五の君へ。ピアノ伴奏の音色と歌声が合わり、優しい曲調が会場を包み込みました。次の発表は1年5組の「糸」です。繊細なピアノ伴奏と歌声が響き、見事に一学年の部のトリを飾りました。10分間の休憩を挟み、2学年の部も「正解」の学年合唱から始まりました。青春時代を共に過ごす「友」について歌うこの曲は、まさ



に青春時代の真つ只中にある2年生にびつたりの曲でした。
2学年の部クラス発表は2年1組の「スパークル」で始まりました。サビに向けて壮大になっていく歌声は、まさに一年間の集大成にふさわしいものでした。続いては2年2組の「home」。家族や友人へ向けた、感謝の気持ちを込めて歌いました。次は2年3組の「365日の紙飛行機」です。「前に進み続けよう」という歌詞に思いを乗せ、立派に歌い切りました。2年4組の「宿命」はエネルギーに溢れる歌声で、2学年の部を元気に締めくくりました。

今回はかなりクラスの結束の強さを感じました。練習を重ねていくにつれて、だんだんと完成度が上がっていったので、とても良かったと思います。(2・3 谷地 駿介)
そして最後は3学年の部です。学年合唱は「証」。3年生

らしい、重みのある歌声がホールに響き渡りました。3年2組は「secret base」君がくれたもの」を柔らかに歌い上げ、「最高の思い出」を心の中心にしっかりと残しました。続いての3年4組は「ラストシーン」。見事に高校生活のラストシーンを飾り、特別賞を受賞しました。3年3組は「あな

たへ」旅立ちに寄せるメッセージ」で調和の取れた歌声を披露し、銀賞を受賞しました。そして、今年度の合唱の部の大ト리를務めたのは3年1組です。「島唄」では、3年間の集大成として力を出し切り、迫力のある声を会場に届けようという強い決意が感じられるような演奏でした。

本番では練習の成果を発揮し、ホールに歌声を響かせることができたと思います。歌い終えた後は、今まで頑張ってきた達成感や、最後の明聖祭が終わってしまった寂しさがありました。(3・3 松村 咲耶)

13組の演奏が終わり、待ちに待った結果発表の時間です。5回目の合唱の部は、金賞3年1組、銀賞3年3組、特別賞は1年2組・3年4組となりました。金賞、銀賞を3年生が受賞するという3年生の意地を見せました。

合唱を通じてさらに絆が深まった友人もいて嬉しかったです。委員長としての役目もやり遂げ、良い経験ができました。この経験を新しいステータスでも活かしていきたいです。(3・2 沼口 若菜)

3年生最後の行事で努力が認められ、誇らしかったです。みんなの一生懸命な気持ちや伝わった結果だと思いましたが、協力することの大切さを学べ、良い思い出となりました。(3・1 荒井 賀子)

来年度も聴く人の心を揺さぶる感動の歌声をクラスの仲間と協力して磨き上げましょう。

令和元年度 明聖祭
合唱の部

- 金賞 3年1組
- 銀賞 3年3組
- 特別賞 1年2組 3年4組
- 最優秀指揮者賞 3年1組 櫻井 昂偉
- 最優秀伴奏者賞 1年5組 翁長 弘人

そしてこの合唱の部で明聖祭の全ての行事が終わりました。明聖祭総合優勝に輝いたのは、合唱の部でも銀賞を受賞した3年3組でした。おめでとうございます。

特別賞



3年4組

銀賞

やったね😊



3年3組

金賞

おめでとう★



3年1組

今回の合唱の部では、各学年間の実力差がなくなり、審査も拮抗した展開となりました。それだけのクラスも真剣に取り組んだ結果だと思えます。また、委員長を中心とした実行委員の活躍もあり、円滑に合唱の部を進行することができました。

明聖祭総合優勝

3年3組



第2回中野キャンパス芸術祭

12月18日(水)中野ZEROホールにて第2回中野キャンパス芸術祭が行われました。

今回からは学年ごとに発表曲を
選択しました。各学年とも一
魂の精神をもって参加し、大
成功に終わりました。



1年台唱

課題曲は1年生が「ア・ホールニューワールド」、2年生が「平和の鐘」、3年生が「ひまわりの約束」でした。どの学年もリハールから一生懸命声を出し、中野キャンパスならではのハーモニを奏でていました。



2年台唱

また、今回の芸術祭では合唱に加えて学年ごとに作品発表がありました。1年生は人気映画スタジオウォーズをモチーフにしたオリジナル映画MEISEI WARSを上映し、大いに盛り上がりました。

2年生は毎年夏恒例の24時間テレビのマラソンのパロディを発表

作品に選びました。ランナーを務めた生徒は他の生徒の声援を背にゼロホールにてゴールテープを切り、場内は感動に包まれていました。3年生は独特なコント、「読書対決」を披露し、客席を抱腹絶倒させていました。



3年読書対決

そして、フィナーレは教員たちによる壮大なコントと、有志の生徒も加えてのバンド演奏で大盛り上がりの中、終演しました。最優秀催事賞は、活気のある歌声で観客を魅了した2年生が受賞しました。



教員催事

明聖ファーム活動報告

収穫祭準備



収穫祭

収穫方法に生徒もはじめは苦戦していましたが、一個一個収穫する毎にコツを掴み、最後には巧みに包丁を操り、サクサクとキャベツを刈り取る姿が見られました。今回は合計で約二百個のキャベツを収穫することができました。収穫したキャベツは一個ずつその重みを感じながら袋に詰め込み、希望する生徒に持ち帰ってもらいました！



こんなに大きく育ちました



生徒が中心となって農作物を育てる「明聖ファーム」。今年度はキャベツを収穫しました。

雨天により収穫が延期になったものの、元気がたつぷりのキャベツを無事収穫することができました。

包丁を使った一風変わった収穫方法に生徒もはじめて苦戦していましたが、一個一個収穫する毎にコツを掴み、最後には巧みに包丁を操り、サクサクとキャベツを刈り取る姿が見られました。

サッカー部 報告

1月19日(日)に八街高校グラウンドにてチャレンジリーグ最終節が行われました。千葉県内6チームの総当たりで



3年生ありがとう

行われるこのリーグ。2勝2敗で迎えた最終戦、リーグ勝ち越しを目指して八街高校との試合に臨みました。序盤からペースを握った明聖高校は、ここまでリーグ3得点と波に乗る1・4上屋が先制点を挙げ、リードします。その後、相手の反撃に遭い1点を返されたものの、コーナーキックからの混戦で3・4佐々木が公式戦初得点となるゴールを押し込み、再びリードを奪います。このまま前半を終えたい明聖高校でしたが、相手の猛攻に耐え切れず、前半終了間際に同点ゴールを許し、勝負の行方は後半へと持ち込まれました。

編集後記

早いもので、あっという間に年度末である3月となりました。1月30日(木)の合唱の部をもって、明聖祭の全ての行事が終わりました。1、2年生は次年度に向けて、そして3年生は卒業に向けてと、気持ちの変化が窺えます。今号では、明聖祭の総合優勝に大きく関わる球技の部、合唱の部の様子をお伝えします。明聖祭での生徒たちの活躍を是非ご覧ください。(吉田 彩奈)

どうしても追加点が欲しい明聖高校は後半積極的に前へ出ますが、相手の堅い守りを崩せません。逆にカウンターを受ける場面も見られましたが、3・3井原、2・1神谷が体を張ったプレーで守ります。しかし、後半終了間際、一瞬の隙をつかれ、相手に勝ち越しゴールを与えてしまいました。このまま終了かと思われたアデイシヨナルタイム、キャプテン3・3工藤が強引なドリブル突破からシュートを放ちます。キーパーがはじいたところを途中出場の3・4安藤が押し込み、同点ゴールをもぎ取りました。そして試合はそのままタイムアップ。最終戦は同点決着となりました。

3年生はこの試合をもって引退となります。最終戦勝利とはなりませんでしたが、最後まであきらめない執念やその懸命にボールを追いかけける姿は後輩たちの目に焼きついたことでしょう。